

# 103-333

## 問題文

52歳男性。腰痛のためロキソプロフェンNaを服用している。全身倦怠感が続いたため受診した。検査の結果、薬物の長期服用による慢性肝疾患が疑われ入院した。肝機能に関する検査値は以下の通りである。ただし、( )内は正常上限値とする。

AST 1,260IU/L (35)、ALT 1,330IU/L (35)、ALP 264IU/L (330)、T-Bil 0.9mg/dL (1.0)、γ-GTP 40IU/L (50)

薬物性肝障害の種類は以下のように分類される。

	肝細胞障害型	胆汁うっ滞型	混合型
検査値	ALT > 2N かつ ALP ≤ N 又は ALT 比/ALP 比 ≥ 5	ALT ≤ N かつ ALP > 2N 又は ALT 比/ALP 比 ≤ 2	ALT > 2N かつ ALP > N かつ 2 < ALT 比/ALP 比 < 5

N：正常上限値、ALT 比 = ALT 値/N、ALP 比 = ALP 値/N

この患者の治療に推奨する薬物はどれか。2つ選べ。

- 1. タウリン
- 2. ウルソデオキシコール酸
- 3. グリチルリチン酸
- 4. ソホスブビル
- 5. リバビリン

## 解答

2, 3

## 解説

ALT > 2N( = 70 ) かつ ALP ≤ N (330) なので、肝細胞障害型とわかります。

選択肢 1 ですが  
タウリンは、肝・循環機能改善剤です。高ビリルビン血症における肝機能改善に用いられます。ビリルビンは基準値内です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は、正しい記述です。

選択肢 4,5 ですが  
これらの薬剤は C 型肝炎治療薬です。薬物性肝障害には用いられません。よって、選択肢 4,5 は誤りです。

以上より、正解は 2,3 です。

ちなみに、ソホスブビルは核酸型NS5Bポリメラーゼ阻害剤です。プロドラッグです。肝細胞内でカルボキシルエステラーゼ（CES1）などによる代謝を受け 活性代謝物ウリジンアナログ-3リン酸 となり薬効を発揮します。

リバビリンは、 インターフェロンとの併用で 効果を発揮する抗ウイルス薬です。